

<第2次名古屋市長多文化共生推進プラン進行管理シート>

施策方針Ⅲ 多様性を活かす社会づくり

事業番号	基本NO	基本施策	施策NO	施策	事業名	事業概要	平成29年度の事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	平成29年度事業の評価 (目的の達成状況・改善点)	平成30年度 方向性	平成30年度事業計画 (目的・内容)	所管局
1	9	地域社会に対する意識啓発	27	地域住民等に対する啓発	多文化共生推進月間	多文化共生推進月間を制定し、イベントの実施や啓発ポスターの掲出等を行うことにより、市民の多文化共生に対する理解と認識を深めます。	多文化共生の理解を高めることができるよう、市民への啓発を集中的に行う。	<ul style="list-style-type: none"> 多文化共生推進月間ポスターによるPRを実施 多文化共生推進月間講演会の実施 多文化共生推進月間関連事業のとりまとめ及び広報 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 多文化共生推進月間講演会 <ul style="list-style-type: none"> 平成29年8月22日 参加者数 141人 テーマ：外国人の子どもへ社会で「見えない」子どもたち (2) 多文化共生推進月間関連事業 <ul style="list-style-type: none"> 実施事業数 19事業 参加者数 5,373人 (3) 啓発ポスターの掲出 <ul style="list-style-type: none"> 各区役所、支所等における掲出を実施 	講演会についてのアンケート結果により、99%以上の参加者が良かったと回答しており、多文化共生について、市民の理解を深めることができた。	継続	<ul style="list-style-type: none"> 多文化共生推進月間講演会の実施 若い世代に多文化共生を普及するための取組 多文化共生推進月間関連事業のとりまとめ及び広報 	観光文化交流局
2	9	地域社会に対する意識啓発	27	地域住民等に対する啓発	多文化共生社会の啓発事業	多文化共生社会の形成促進を目的に、広報なごや、名古屋国際センター広報誌「ニック・ニュース」、「子ども版ニック・ニュース」などによる広報及びその他啓発事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 市民向け広報紙・外国人向け情報誌・子ども向け国際理解冊子の発行を通して、市民の国際交流・国際協力・多文化共生への理解を促進する。 日本人と外国人が共に地域住民として豊かな生活文化を創造できる「多文化共生社会」の形成を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋国際センター日本語広報誌「ニック・ニュース」(隔月刊)の発行 10,000部 子ども版「ニック・ニュース」(年2回)の発行 各68,500部 名古屋国際センター外国語情報誌「ナゴヤカレンダー」(月刊)の発行 英語各6,000部・ポルトガル語各4,000部発行 地域の国際化セミナーの開催 年1回 	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋国際センター日本語広報誌「ニック・ニュース」(隔月刊)の発行 10,000部 子ども版「ニック・ニュース」(年2回)の発行 各68,500部 名古屋国際センター外国語情報誌「ナゴヤカレンダー」(月刊)の発行 英語6,000部・ポルトガル語4,000部発行 地域の国際化セミナー実施日：平成30年3月4日 参加者数：91名 	<ul style="list-style-type: none"> 「ニック・ニュース」「子ども版ニック・ニュース」は、地域における多文化共生についての取材記事や名古屋国際センターが行う取り組み等の紹介記事を通して、多文化共生社会やグローバル課題について子どもから大人まで幅広く市民に関心を持ってもらうきっかけを作ることができた。 外国語情報誌は、在住外国人にとって、イベント情報だけでなく、必要な生活・行政情報を得るツールとなっているが、ますます進む外国人の国籍・言語の多様化に対応していく必要がある 地域の国際化セミナーは「子育て」「若者」「高齢化」などさまざまな分野のまちづくりの実践から多文化共生の地域づくりについて考えることができた。 	拡充	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋国際センター日本語広報誌「ニック・ニュース」(隔月刊)の発行 10,000部 「子ども版ニック・ニュース」(年2回)の発行 各68,500部 名古屋国際センター外国語情報誌「ナゴヤカレンダー」(月刊)の発行 英語版(冊子6,000部)に加え、新たに中国語版(ウェブ版)を発行 ウェブ版の閲覧性の向上を図る。 地域の国際化セミナー(年1回)外国人を含む市民一人ひとりが担い手となる多様性を活かした地域づくりについて、市民の理解を促進するセミナーを実施する。 	観光文化交流局
3	9	地域社会に対する意識啓発	27	地域住民等に対する啓発	図書館における情報提供	外国語による図書や文化を紹介した本等の外国に関連する資料の収集・配架を進めます。また、多文化共生コーナーを設置します。	外国語による図書や外国文化を紹介する資料の提供	<ul style="list-style-type: none"> 外国語による図書や外国文化を紹介する資料の収集・配架 外国語の図書等を活用したイベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語による図書や外国文化を紹介する資料の収集・配架 港図書館において多文化共生月間に「絵本のひろば」を開催 各図書館で、外国語によるおはなし会を開催(11図書館で実施) 	<ul style="list-style-type: none"> 事業目的を達成できた。 おはなし会などの事業を実施できる図書館の増加を目指したい。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 外国語による図書や外国文化を紹介する資料の収集・配架 外国語の図書等を活用したイベントの開催 	教育委員会
4	9	地域社会に対する意識啓発	27	地域住民等に対する啓発	人権セミナー等の実施	なごや人権啓発センター(ソレイユプラザなごや)において、市民を対象とした人権セミナー等を実施します。	市民を対象とした啓発を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 「デジタルコンテンツによる啓発」及び「啓発パネル展示」 第2回人権セミナーを開催 演題：『異文化体験！メキシコの文化にふれてみよう！』 講師：チャム・アリアス・コラルさん 開催日：8月4日 会場：なごや人権啓発センター研修室 夏の人権フェスタ ちよっと素敵な映画会を開催 映画：「パティントン」 開催日：8月20日 会場：鯉城ホール 	<ul style="list-style-type: none"> 「デジタルコンテンツによる啓発」及び「啓発パネル展示」 第2回人権セミナーを開催 演題：『異文化体験！メキシコの文化にふれてみよう！』 講師：チャム・アリアス・コラルさん 開催日：8月4日 29人 会場：なごや人権啓発センター研修室 夏の人権フェスタ ちよっと素敵な映画会を開催 映画：「パティントン2」 開催日：8月18日 会場：鯉城ホール 	<ul style="list-style-type: none"> 定員に満たなかったものの、アンケート結果などから、参加体験型のセミナーにより、理解促進が進んだほか、今後も同様の事業実施を望む声も高く、次年度も継続していく。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 「デジタルコンテンツによる啓発」及び「啓発パネル展示」 第2回人権セミナーを開催 演題：『趙先生の切り絵ワークショップ』 講師：趙明珠さん 開催日：8月26日 会場：なごや人権啓発センター研修室 夏の人権フェスタ ちよっと素敵な映画会を開催 映画：「パティントン2」 開催日：8月18日 会場：鯉城ホール 	市民経済局
5	9	地域社会に対する意識啓発	27	地域住民等に対する啓発	多文化共生に関する講義の実施	市民や大学等からの要請に応じ、市職員が多文化共生をテーマに講義を行い、市民の多文化共生についての理解を深めます。	大学等への講義を通じて、学生など若い世代の多文化共生についての関心や理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> 大学等からの要請に基づき講義を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 【名古屋外国語大学】実施日：平成29年11月2日 【名古屋立大学】実施日：平成29年11月14日 	講義を通じて、若い世代である学生に対して、多文化共生についての関心や理解を深めることができた。	継続	<ul style="list-style-type: none"> 大学等からの要請に基づき講義を実施 	観光文化交流局
6	9	地域社会に対する意識啓発	27	地域住民等に対する啓発	ヘイトスピーチ解消に向けた取り組み	本邦外出者に対する不当な差別的言動(ヘイトスピーチ)の解消に向け、国との役割分担を踏まえ関係諸機関と連携を図りながら、的確に相談に応じるとともに、教育や啓発の充実等に努めます。	国との役割分担を踏まえ関係諸機関と連携を図りながら、教育や啓発の充実等に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 法務省作成のポスター掲出、リーフレット配架 なごや人権啓発センターでの法律の掲示、ウェブサイト掲載による法律の周知 関係4局による庁内連絡会での検討 	<ul style="list-style-type: none"> 愛知人権啓発活動ネットワーク協議会とも連携しながら、各種人権啓発イベントを行う際に、啓発活動を実施 なごや人権啓発センターでの法律の掲示、ウェブサイト掲載による法律の周知 関係4局による庁内連絡会開催 学校および社会教育施設において、国際理解教育や多文化共生教育を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 市職員はもとより、広く市民への周知・意識啓発に努めた。次年度以降も継続していく。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 法務省作成のポスター掲出、リーフレット配架 なごや人権啓発センターでの法律の掲示、ウェブサイト掲載による法律の周知 関係4局による庁内連絡会での検討 	市民経済局 観光文化交流局 緑政土木局 教育委員会
7	9	地域社会に対する意識啓発	27	地域住民等に対する啓発	多文化交流の推進	外国人市民と日本人市民が自国の歴史や文化を紹介したり、互いの風習を学ぶことなどを通して、相互の交流を進め、文化の違いを理解しあうための事業を実施します。	外国人の人権への理解を促す。	<ul style="list-style-type: none"> 外国人による人権啓発事例発表と人権をテーマとした映画を鑑賞する。 日時：平成30年1月20日(土) 会場：緑区役所講堂 	<ul style="list-style-type: none"> 人権啓発事例発表会&映画鑑賞会「42～世界を変えた男～」 日時：平成30年1月20日(土)午後1時～4時 会場：緑区役所講堂 参加者：39名 内容：外国人による人権啓発事例の発表を行った。その後、史上初のアフリカ系メジャーリーガーとなったジャッキー・ロビンソンの半生を描いた映画を鑑賞した。 	<ul style="list-style-type: none"> 緑区の南陵・浦里学区に外国人が多いという特徴を踏まえ、外国人の人権をテーマに取り組みることができた。 また人権啓発事例の発表や映画鑑賞を通して、外国人の人権への理解を促すことができた。 イベントに参加して「よかった」「まあまあよかった」と答えた人の割合(91%)(30名/33名中) 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 区内在住の外国人による体験発表と映画鑑賞を通して、外国人の人権への理解を促すイベントを実施する。 外国人によるちよっとステキな体験発表&映画会「しあわせの隠れ場所」 開催日：平成30年12月16日(日) 会場：緑区役所講堂 	緑区
8	9	地域社会に対する意識啓発	27	地域住民等に対する啓発	地域における啓発	区民まつり、区役所PRコーナー等での多文化共生に関する施策のPRを行い、市民の多文化共生に対する理解と認識を深めます。					新規	<ul style="list-style-type: none"> 区民まつり、区役所PRコーナー等での多文化共生に関する施策のPRを行い、市民の多文化共生に対する理解と認識を深めます。 	観光文化交流局

<第2次名古屋市多文化共生推進プラン進行管理シート>

施策方針Ⅲ 多様性を活かす社会づくり

事業番号	基本NO	基本施策	施策NO	施策	事業名	事業概要	平成29年度の事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	平成29年度事業の評価 (目的の達成状況・改善点)	平成30年度 方向性	平成30年度事業計画 (目的・内容)	所管局
9	9	地域社会に対する意識啓発	28	多文化共生の拠点と関係機関・地域との連携	名古屋国際センターの運営	名古屋国際センターを、外国人と日本人が共に集まり、行政機関や地域などと協働して多文化共生を推進する拠点とし、市民レベルの相互理解の促進や多文化共生の担い手となる人材の育成、意識啓発などの更なる充実を図っていきます。	社会情勢を踏まえ、当地域の特性を生かした国際化推進事業を行うことにより、相互理解に基づく多文化共生社会の形成を促進し、国籍・人種を問わず、誰もが共に豊かに安心して暮らせる社会の実現を目指す。	名古屋国際センターにおいて、地域の国際化推進のための情報提供、相談事業、講座等を開催する。なお、事業の実施に当たっては、名古屋市第2次多文化共生推進プランを踏まえて行う。	名古屋国際センターにおいて、国際交流・国際協力を始めとした地域の国際化推進のための情報提供や相談事業、国際理解や多文化共生に関する講座等を開催した。入館者数：53,671人	計画通り事業は実施された。昨年度と比較し、入館者数は6,133人増加した。国際化推進事業、施設管理運営業務ともにアンケートを実施し、9割を超える高い満足度を得た。	継続	名古屋国際センターにおいて、地域の国際化推進のための情報提供、相談事業、講座等を開催する。なお、事業の実施に当たっては、名古屋市第2次多文化共生推進プランを踏まえて行う。	観光文化交流局
10	9	地域社会に対する意識啓発	28	多文化共生の拠点と関係機関・地域との連携	名古屋市多文化共生推進協議会の設置	国や愛知県、名古屋国際センターをはじめとする関係機関、企業、NPO・ボランティア、地域などを構成員とした協議会をつくり、情報交換・連絡調整及び協議を行い、連携して多文化共生の推進に取り組みます。	関係部署の連携体制を築き、全庁的に多文化共生を推進する。	協議会の設置の検討	-	-	継続	名古屋市多文化共生推進協議会の設置	観光文化交流局
11	9	地域社会に対する意識啓発	28	多文化共生の拠点と関係機関・地域との連携	港区多文化共生推進協議会の運営	港区の関係諸機関との情報交換及び連絡調整に関すること、共生を推進するための協議及び検討を行うこと、その他共生を達成するために必要なことを目的として活動します。	港区の関係諸機関との情報交換及び連絡調整に関すること、共生を推進するための協議及び検討を行うこと、その他共生を達成するために必要なことを目的として活動する。	<ul style="list-style-type: none"> 協議会の開催 2回 就学支援チラシ作成 外国人保護者に就学や学校生活についての相談窓口等を紹介するためのチラシを作成し、来年度入学する外国人児童へ配付する。 救急医療情報キット作成・配布 救命救急や災害が発生した場合において、日本語が不自由な外国人が必要な医療情報を正確に伝えるための救急医療情報キットを作成・配布 実施日：未定 国際交流講座 講座名：ふれ合って学ぶ多文化共生 実施期間：平成30年1月～平成30年2月(全5回) 内容：市民を対象として、外国の文化や習慣などを体験を通して学ぶ。 講座名：みんなで楽しく国際交流！～ブラジルのお菓子を作って、遊ぼう～ 実施日：平成30年2月10日(土) 内容：ブラジルを代表するお菓子を作り、ブラジルの言葉や文化にふれる遊びを通して、楽しく交流を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 協議会の開催 2回 就学支援チラシ作成 外国人保護者に就学や学校生活についての相談窓口等を紹介するためのチラシを作成し、来年度入学する外国人児童へ配付する。 救急医療情報キット作成・配布 救命救急や災害が発生した場合において、日本語が不自由な外国人が必要な医療情報を正確に伝えるための救急医療情報キットを作成・配布 実施日：平成30年2月 国際交流講座 講座名：ふれ合って学ぶ多文化共生 実施期間：平成30年1月～平成30年2月(全5回) 内容：市民を対象として、外国の文化や習慣などを体験を通して学ぶ講座を開催。 講座名：みんなで楽しく国際交流！～ブラジルのお菓子を作って、遊ぼう～ 実施日：平成30年2月10日(土) 内容：ブラジルを代表するお菓子を作り、ブラジルの言葉や文化にふれる遊びを通して、楽しく交流を深める。 	概ね順調に目標を達成できた	継続	<ul style="list-style-type: none"> 協議会の開催 2回 就学リーフレットの配布 外国人保護者に就学や学校生活についての相談できる専門の窓口等を紹介するチラシ(8か国語)を区内の学校などで配付。 国際交流講座 講座名：外国文化に触れる多文化共生 実施期間：平成30年10月～11月(全4～5回程) 内容：外国の衣・食・住を中心に文化とその背景を学ぶ講座を開催。 講座名：食文化に学ぶ多文化共生 実施日：平成31年1～2月頃(1回) 内容：ブラジル料理を中心に食文化を通して多文化にふれあい、理解を深める。 	港区
12	9	地域社会に対する意識啓発	29	多文化共生をテーマにした交流イベントの開催	多文化共生まちづくり事業	外国人と日本人が共に多文化共生のまちづくりを考え、地域住民同士の顔の見える関係をつくる機会として、交流や外国人向け生活情報の提供を内容とするイベントを地域の関係機関・団体や区役所等と連携して行います。	言語の違いによる窓口での外国人市民の不便さを解消する。	<ul style="list-style-type: none"> ①港区 日時：8月26日(土)午後4時～7時30分 場所：港区九番団地 ②中区 日時：10月15日(日)午前11時～午後3時 場所：名古屋市立栄小学校 ③緑区 日時：平成30年3月25日(日)午後1時30分～4時30分 場所：名古屋市立南陵小学校 	<ul style="list-style-type: none"> ①港区「みなと国際交流のつどい」 実施日：平成29年8月26日 参加者数：600名 ②中区「中区安心・安全・快適なまちづくり大会」ブース出展 ※悪天候により開催中止 ③緑区「みどり多文化交流会」 実施日：平成30年3月25日 参加者数：191名 	外国人と日本人が交流する機会とともに、日本人に対し、多文化共生の意識・関心の喚起を促す場ともなっている。	継続	イベントの企画・実施を通して、外国人と日本人が共に多文化共生のまちづくりを考え、行動するための機会をつくる。 ①港区「みなと国際交流のつどい」 ②中区 ③緑区「みどり多文化交流会」	観光文化交流局
13	9	地域社会に対する意識啓発	29	多文化共生をテーマにした交流イベントの開催	外国人との共生と交流のまちづくり事業	日本人住民と外国人住民の共生と交流を図るため、バスケットボール大会等の交流イベントを実施します。また地域で活動する日本人、外国人、行政が相互に知り合い、情報交換する機会を設けます。	日本人住民と外国人住民の共生と交流を図るため、バスケットボール大会等の交流イベントを実施し地域で活動する日本人、外国人、行政が相互に知り合い、情報交換する機会を設ける。	栄東まちづくりの会に事業を委託し、バスケットボール大会を開催する。 合わせて、多文化推進関係団体の交流会を開催し情報交換をする。	「池田公園バスケットボール3b y 3大会」、「中区多文化共生推進講演会」、「中区多文化推進地域課題解決ワークショップ」を実施。	<ul style="list-style-type: none"> バスケット大会については楽しかったという声が聞けた。一方、出場チーム数を限定した方が良いとの意見あり。また雨天となることが予想されて場合についても対策を練ることが必要。 講演会については定員以上の参加者があり、多文化共生に対する関心の高さを感じた。外国人との共生について、具体的な事例を聞くことで、その大切さと方法を学ぶ機会となった。 ワークショップについては、多様な立場・出身の外国人住民から多くの参加があり、今後の方向性を考えるにあたり重要な意見を多数得られた。 	拡充	<ul style="list-style-type: none"> 地域で多文化共生に取り組み日本人、外国人、行政が地域の課題を共有し、その解決策をともに考える場を設け、課題解決ワークショップを開催する。 中区多文化共生講演会を開催する等、事業の拡充をはかる。 	中区
14	9	地域社会に対する意識啓発	29	多文化共生をテーマにした交流イベントの開催	留学生の区民まつりへの参加	区内の大学の留学生が地域住民との交流を図り、相互理解を深めるため、区民まつりにおいてブース出展を行います。	留学生が社会参画する場として、引き続きブース出展をし、地域住民との間に多文化共生社会に対する相互理解を深められるようにする。	10月29日開催の区民まつりにおいて、10:00～14:30に名古屋工業大学国際学生会の留学生がブース出展を行う。	ブース出展せず。 なお、区民まつりは台風のため中止	模擬店の提供品目の基準が厳しくなり、各国料理の提供が困難になったため、出展を取りやめた。	見直し	事業の廃止	昭和区
15	9	地域社会に対する意識啓発	29	多文化共生をテーマにした交流イベントの開催	外国人研究者・留学生と地域との交流	外国人研究者・留学生を講師として小学校などの地域に派遣するなど、地域との交流を通して、多文化共生の推進と地域の国際化に寄与します。	外国人研究者・留学生と地域との交流による地域の国際化への寄与	外国人研究者・留学生を講師として小学校に派遣するなど、地域との交流を通じて、多文化共生の推進と地域の国際化に寄与する。	ドイツ、台湾、韓国、中国、タイ、オランダ、フランス、ブータンの留学生延べ20名を市内の小学校へ派遣。また、ドイツ、台湾、オランダの留学生4名を鶴舞中央図書館へ派遣。自国・地域の紹介を交え、児童たちとの文化交流に貢献した。	国籍が偏らないよう配慮し、多国籍の留学生に協力してもらった。児童たちに異なる文化を紹介し、また自国・地域の文化を見直す良い機会になったと思われる。参加した留学生も大変充実した様子だった。	継続	外国人研究者・留学生を講師として小学校に派遣するなど、地域との交流を通して、多文化共生の推進と地域の国際化に寄与する。	名古屋市立大学

<第2次名古屋多文化共生推進プラン進行管理シート>

施策方針Ⅲ 多様性を活かす社会づくり

事業番号	基本NO	基本施策	施策NO	施策	事業名	事業概要	平成29年度の事業目的	平成29年度事業計画	平成29年度事業実績	平成29年度事業の評価 (目的の達成状況・改善点)	平成30年度 方向性	平成30年度事業計画 (目的・内容)	所管局
16	9	地域社会に対する意識啓発	30	多文化共生の視点に立った国際理解教育の推進	NIC(ニック)地球市民教室の活用	地域における多文化共生の重要な担い手である在住外国人を講師として登録し、学校や地域において日本語による母国の紹介等を行う「NIC地球市民教室」を通して、外国人講師と市民の国際交流とともに、多様な背景をもつ外国人市民についての理解を促進します。	在住外国人を講師として登録し、日本語による母国の紹介などを通して地域の国際理解・国際交流を促進する。また、市民の多様な背景を持つ外国人についての理解を促す。	①外国人講師の派遣コーディネート(年間200件)小中学校を始めとする学校及び非営利団体の依頼に基づき、外国人講師を紹介する。 ②新規登録講師の募集・登録及び研修(年2回) ③登録講師のスキルアップ研修(年3回) ④公開モデル授業(年1回) 教員を対象に当該事業の周知と具体的な活用法を知って頂くため、公開モデル授業を開催。 実施日:1月13日	①NIC地球市民教室外国人登録者数114名42か国1地域(平成30年3月31日現在) ・外国人講師の派遣コーディネート派遣件数:182件 ・派遣講師数:延べ282名 ②新規登録講師の募集・登録及び研修実施日:平成29年4月22日、9月23日 参加者数:20名 ③登録講師のスキルアップ研修実施日:平成29年7月15日・19日、11月4日 参加者数:37名 ④公開モデル事業「発見!体験!地球市民キャンパス」実施日:平成30年1月13日 参加者数:45名	講師派遣に関しては、依頼者の満足度も概ね高く、講師を通して異文化を理解する機会となった。母国紹介(異文化理解)に加えて、多文化共生や国際協力等の広い視点で講演ができる講師を発掘・育成する必要がある。	拡充	在住外国人を講師として登録し、日本語による母国の紹介などを通して地域の国際理解・国際交流を促進する。また、市民の多様な背景を持つ外国人についての理解を促す。 ①外国人講師の派遣コーディネート小中学校を始めとする学校及び非営利団体の依頼に基づき、外国人講師を紹介する。 ②新規登録講師の募集・登録及び研修(年2回) ③登録講師のスキルアップ研修(年2回) ④NIC地球市民教室「チャレンジコース」 ⑤公開モデル授業「発見!体験!地球市民キャンパス」(年1回) 教員を対象に当該事業の周知と具体的な活用法を知って頂くため、公開モデル授業を開催。	観光文化交流局
17	10	多様性を活かした都市の活性化	31	留学生・外国人材の能力を活かす場づくり	国際留学生会館の運営	愛知県内の大学等に在学する留学生に宿舍施設を提供します。留学生を対象に日本文化を紹介する講座を開催し、留学生を講師とする市民を対象とした外国語講座を開催します。また、愛知県内の団体や市民からの要望により、地域の各種行事に参加することで、留学生と市民の交流を進めます。	留学生に安価で良質な宿泊施設を提供するとともに、入居留学生と市民との交流を通して、相互理解を促進する。	宿泊事業のほか、留学生を対象に日本文化を紹介する講座や就職支援事業、留学生を講師とする市民を対象とした外国語講座を開催する。また、地域の事業に参加し、留学生と市民の交流を促進する。	・入居者数186名(28か国1地域) ・留学生向け講座等5回77名 ・情報提供1,146件、相談569件 ・日本人向け講座等6回95人 ・地域住民との交流1,783人	概ね目標は達成できたが、留学セミナーについては参加者が少なかつたため、セミナーの内容、実施時期、広報等について検討する必要がある。	継続	愛知県内の大学等に在学する留学生に宿舍施設を提供する。留学生を対象に日本文化紹介講座を開催し、留学生を講師として市民を対象に外国語講座を開催する。また、地域の各種行事に参加し、留学生と市民の交流を進める。なお、平成30年度は名古屋アセットマネジメントによる屋上(4階)防水改修工事(港保健センター併存)を実施する。	観光文化交流局
18	10	多様性を活かした都市の活性化	31	留学生・外国人材の能力を活かす場づくり	なごや留学生フレンドシップ事業	留学先としての名古屋の魅力PRして留学生を誘致します。また、名古屋での留学生生活を充実させるためのイベントなどを開催し、留学生を支援します。	名古屋市内に留学生を誘致するため、留学生交流イベントの実施やリーフレットの配布を行う。	・留学生を誘致するため、市内大学と連携を図るとともに、イベント等を通して本市に関する情報を提供し、市民との交流や学生どうしの交流を促進する。 ・イベントでは留学生向けの講話及び交流をおこない、ブース出展もおこなう。 ・PRリーフレットを大学に配布する。	(1)留学生誘致事業PRリーフレット・ポスターの配布 (2)留学生に対する生活支援事業「外国人留学生大交流会 in なごや2017」 開催日:平成29年7月1日(土) 参加留学生数:139人(17カ国)	多くの学生が集まった一方で、参加者の国籍に偏りが見られたため、より多くの国籍の留学生の参加を促されるよう検討する。	継続	・留学生を誘致するため、市内大学と連携を図るとともに、イベント等を通して本市に関する情報を提供し、市民との交流や学生どうしの交流を促進する。 ・イベントでは留学生向けの講話及び交流をおこない、ブース出展もおこなう。 ・PRリーフレットを大学に配布する。	観光文化交流局
19	10	多様性を活かした都市の活性化	31	留学生・外国人材の能力を活かす場づくり	市立大学における留学生の受入・支援	市立大学において各国からの留学生を受入れ、外国人留学生特別指導員(チューター)の配置や宿舍の提供等により支援を行います。	市立大学における留学生の受入推進及び生活支援	市立大学において各国からの留学生を受入れ、外国人留学生特別指導員(チューター)の配置や宿舍の提供等により支援を行う。	本学への新入生をはじめ、協定校からの交換留学生を受入れた。また希望者及び交換留学生にはチューターを配置し、生活面及び授業のサポート支援を行った。本学留学生宿舍支援以外に、企業寮入居への支援も行った。	交換留学生も様々な国籍から受入れを行った。チューター配置以外にも新入生及び交換留学生の歓迎会も開催し、日本人学生との交流を図った。宿舍の入居対象を広げ、現在満室状態となっている。	継続	市立大学において各国からの留学生を受入れ、外国人留学生特別指導員(チューター)の配置や宿舍の提供等により支援を行う。	名古屋市立大学
20	10	多様性を活かした都市の活性化	32	多文化共生の担い手となる人材育成	グローバル人材の育成・支援	在住外国人も含めた若年層を対象に、セミナー等を通じて世界に広く視野を広げ多様性を尊重する「グローバル人材」を育成するとともに、その活動を支援します。	若者がグローバルに活躍することの意義やそのために必要な能力などを学び、「地球」や「地域」における課題に向き合い、解決に向け、広い視野で行動することに関心を高める。	・グローバル人材育成セミナー「国際協力分野で働こう!~地球を視野に~」日時:9月2日(土)13:00~16:30 内容:国際協力分野におけるさまざまな業界関係者をゲストに迎え、キャリアプランを描くヒントを学ぶ。	・グローバル人材育成セミナー「国際協力分野で働こう!~地球を視野に~」 実施日:平成29年9月2日 参加者数:170名	キャリアモデルとなる登壇者から体験談や仕事のやりがいなどを聞くことで、国際協力分野で働くことへの参加者の関心を促すことができた。	継続	高校生や大学生など若年層を対象に、地球の課題を“自分のこと”として捉え、広く世界でも行動できる人材の育成・支援を行う。 ①グローバル人材育成フォーラム ②グローバル人材育成研修(入門編、実践編) ③グローバルユースカフェ ④グローバル人材育成アドバイザーの登録・活用	観光文化交流局
21	10	多様性を活かした都市の活性化	33	多様性を活かした名古屋の魅力向上と情報発信	都市魅力の向上・発信	名古屋の国際的な認知度・魅力度や都市イメージの向上を図り、ひいては交流人口の増加を図るとともに、多言語での情報発信の充実により、外国人市民を含めた市民の名古屋に対する誇りや愛着を醸成・高揚します。	名古屋の魅力を自発的に発信するサポーターを募るなど、魅力向上・発信に取り組み市民の増加を図る。	H29.9より「名古屋なんて、だいすき」アプリ<英語・韓国語・中国語(簡体字・繁体字)・フランス語対応>を活用して、外国人市民を含めた多くの市民からサポーターを募る。	平成29年9月より、名古屋なんて、だいすきアプリの運用を開始。平成30年3月31日までに2,205名のサポーター登録があった。	2,500名/年のサポーター登録を目指し、各所でサポーター登録キャンペーンを行ったが、登録目標にはやや届かなかった。一方、お知らせ欄の活用を他課に呼びかけたことで、アプリの周知はある程度行うことができた。	継続	平成32年度までに10,000人のサポーター登録を目指し、まずは平成30年度中に5,000人のサポーター登録完了のため、新たな企画を実施する。	観光文化交流局
22	10	多様性を活かした都市の活性化	33	多様性を活かした名古屋の魅力向上と情報発信	外国人市民と協働した情報発信	外国人目線で名古屋の魅力を発掘し、在住外国人のネットワークを活用するなど海外に情報発信することで、名古屋の知名度向上、外国人の名古屋への誘客を図ります。また、在住外国人の母国の文化、歴史、観光情報等を市民に伝える機会をつくり、相互理解を深めるとともに、海外渡航を促進することで、交流人口の拡大を図ります。	母国文化を市民に伝えることのできる在住外国人・団体との調整を図る。	外国人市民との窓口を所管している部署や航空会社等と協働し、来年度以降の実施に向けて調整を図る。	姉妹友好都市の各都市と名古屋を結ぶPRグッズをランス市の商工会議所に渡し、ランス市で配布を依頼した	ランス市の商工会議所からの申し出によりPRグッズを渡した。200部程度渡すことができた	見直し	組織異動のため、事業見直し	観光文化交流局

※「多文化交流の推進」(事業番号7)は、プランに掲載されていない多文化共生推進事業。